

第12回 かながわ感動介護大賞

受賞作品紹介



最優秀賞



にし び 西陽のあたる玄関 海老原 美和様

● 感動介護を行った事業所

株式会社サロンデイ サロンデイリフレ大庭

「お父さん、まだ早いよ。」そう何度、口にしたらろう。上履きを入れたバッグを斜めがけにして玄関のドアを開け放ち、お気に入りの腕時計を何度も眺めながらいつものイスに座る父。そう、デイサービスのお迎えを1時間前から待っているのだ。

「イヤではないのかな？」当初、少し家族は不安だったが、そんな心配はまったくいなかった。家では寡黙な父だが、デイサービスでは、まるで別人のように、たくさんのお仲間と談笑し、歌い楽しんで過ごしていると施設の所長さんや見学に行ったケアマネさんからお聞きした。

私は、そんな極めて言葉少なめな父に言われたひと言が忘れられない。「歳をとると、みんな、お父さんのことを嫌いになるんだね。」悲しい瞳だった。どんどん歩みが遅くなっていく父に、つい「早くして」といつも言ってしまうていた愚か過ぎる自分に気づいた瞬間だった。

「お父様、94歳ご立派ですね。」そう人から言われたことがある。でも私は思う。週3回13:00が来るのを、あんなにも楽しみに待っていた父の幸せな時間を作ってくださったデイサービスの職員のみなさまが立派なのだと。長年にわたり、父への尊厳を大切にされた関わりで接してくださったからこそなのだ。

西陽が当たる玄関に、もう父は居ない。だが、そこで楽しみに待ち続けた10年間の在りし日の父の姿の思い出は、私たち家族の宝物になった。

今、ちゃんと伝えたい。

「サロンデイリフレ大庭のみなさま、本当にありがとうございました。」と。